Hybrid IT Managed Services

障害対応に追われる運用から成長を支える運用へ

つながる運用と可視化・AI活用で、
迅速な判断と継続的な改善を支援する統合ITOps

モダナイゼーション・DXの安定推進を阻む課題

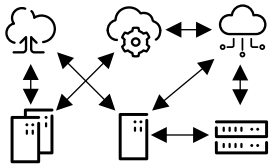
- システム全体が多様化・複雑化する一方、運用は業務やシステム単位で依然として分断
- 変化の速さに追随できない運用が、ビジネスにも悪影響

システムの変化
柔軟かつ高速化

運用の課題
変化の速さに追随困難

その結果・・・

モダナイ・DX



- 多様化、複雑化する連携
- 絶え間のない更新

①全体状況が見えない
連携関係が把握できない

②判断・対処に迷う
知見の分散・属人化の加速

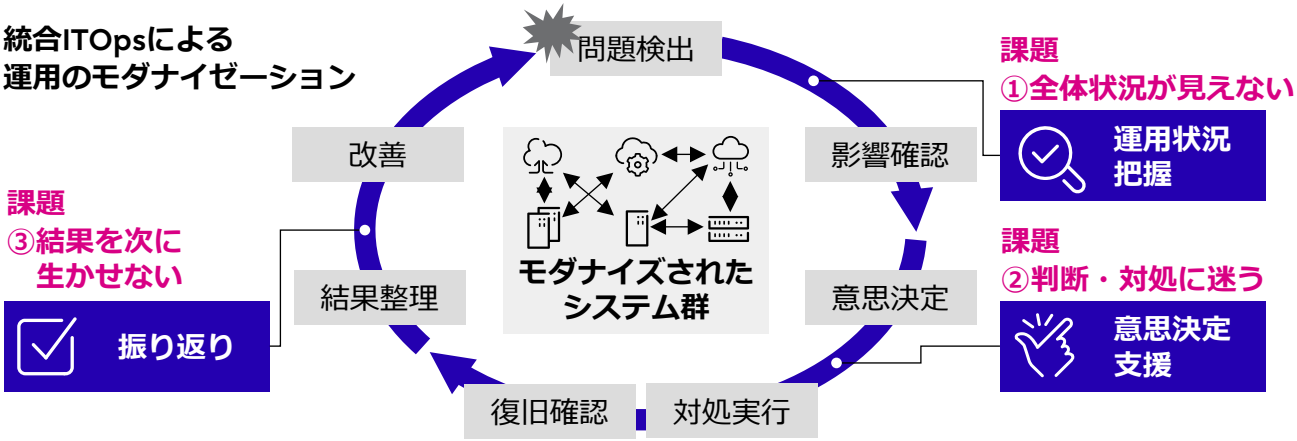
③結果を次に生かせない
整理・分析の時間が取れない

トラブルが長引く
顧客に影響、機会損失

変革に手が回らない
改善・成長機会を喪失

分断された運用をつなぐ "運用のモダナイゼーション" で解決

- 問題検出・影響確認・意思決定・対処実行・復旧確認・結果整理・改善を連続した活動として統合
- 「運用状況把握」「意思決定支援」「振り返り」の3つの機能で運用現場の課題の解決を支援

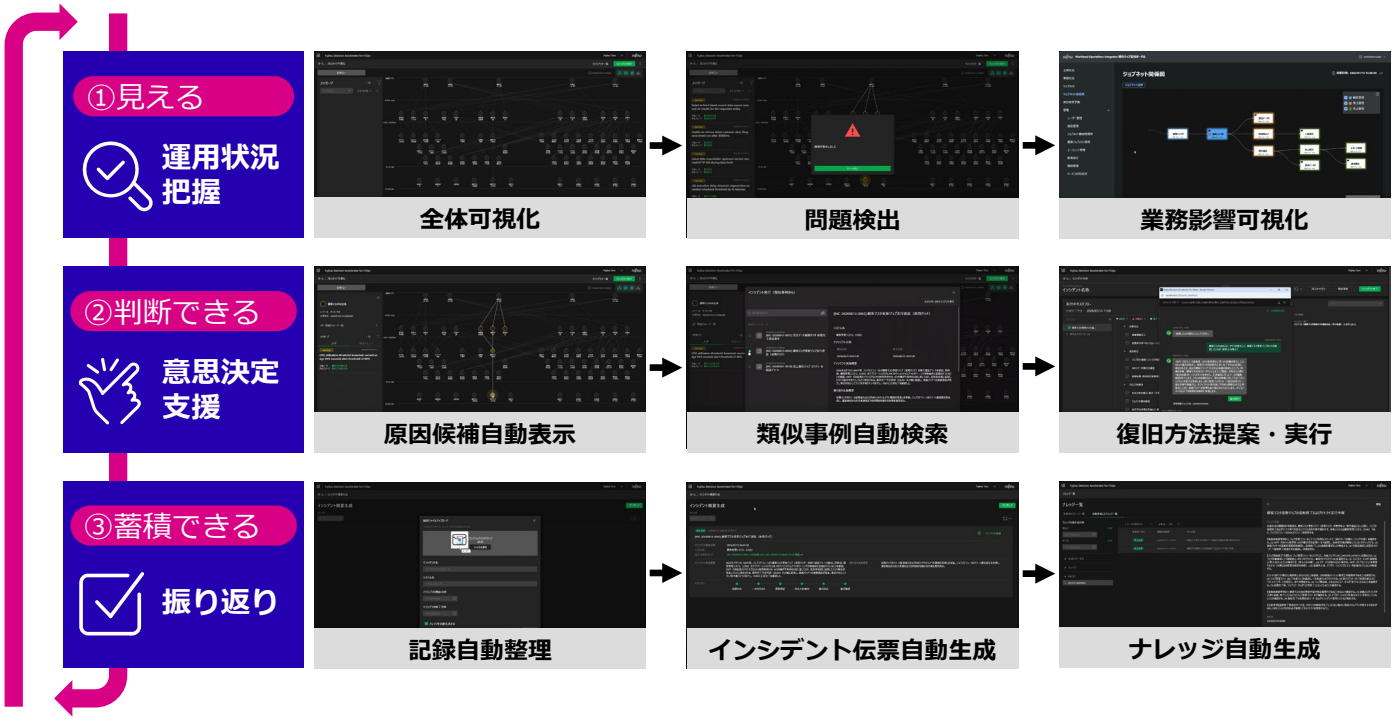


導入メリット

- 運用全体を効率化し、ビジネス機会損失の防止に寄与
- 障害対応に追われる運用から、成長を支える運用への変化を促進

© 2026 Fujitsu Limited

つながる運用と可視化・AI活用で、問題解決を支援



①「見える」運用状況把握：全体可視化で状況・影響を即座に把握

多様化・複雑化したシステム全体の関係性や実行状況を一元的に把握し、障害対応や業務影響の判断を加速します。

- システムおよび業務の全体構成、相互関係、エラー発生状況および想定原因箇所を、一目でわかるように整理して表示
- 業務を支えるジョブフロー全体の実行状況、トラブルの有無や影響範囲を可視化

②「判断できる」意思決定支援：AIが判断材料を提示

AIの支援により問題への対応判断を迅速化、対応品質の平準化と属人化の防止に貢献します。

- 過去の類似事例や手順書、有識者の判断履歴をAIが分析、障害対応時に必要な判断材料や推奨タスクを提示

③「蓄積できる」振り返り：ナレッジを蓄積し継続改善

対応結果をナレッジや改善知見としてAIで自動整理し、活用を促進することで、継続的な運用効率化、品質向上を支援します。

- メール、チャット、メモなどを基に、インシデント伝票、障害報告書、ナレッジ、品質改善策などの素案を自動生成

効果

運用状況把握	意思決定支援	振り返り
システム横断ジョブフローの連携関係を可視化	類似事例調査～復旧にかかる工数（人・時間）〔検証結果〕	障害原因分析～再発防止策検討にかかる工数（人・時間）〔検証結果〕
異常影響を迅速特定	**36%削減**	**50%削減**

検証結果に基づく数値であり、環境によって効果は異なります。

※本資料には一部開発中の機能が含まれます。機能名称・画面イメージ・動作仕様は今後変更となる場合があります。

お問い合わせ先

製品・サービスについてのお問い合わせはコチラ

富士通株式会社　〒211-8588　神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1

© 2026 Fujitsu Limited